

おじいちゃん人が教えてくれたこと。

ほりうち ちうたう

東日本大しんさいの時、水道もとま。てし  
まいトイシが流せなくなりました。いつもは  
べっべっぴに生活しているおじいちゃんとお  
ばあちんが、うちにとまりに来てくれました  
た。ぼくは、三才でしたが、いっしょにねら  
れたのがうれしくて今でもおぼえています。  
お父さんとおじいちゃんが家中のいしとうけ  
ースやバケツを出してきて、雨水ではなかっ

たけれど雪どけ水をいっばいためて、トイシ  
を流す時につかいました。トイシを使。た後  
は、小さいバケツにうつした水を少しずつ流  
して大切にっかたそうです。雨水はそれい  
がいで、ぼくらの生活に使われていました。

おじいちゃん畑では、毎年たくさん野  
さいがとれます。でもおじいちゃん畑には  
水道がありません。いつもふしぎに思。て  
いました。どうやって畑に水をまいているの  
かな。。。おじいちゃんに直せっまいてみ

じゃくしなどぼうじゃうじゃいしました。日で  
 リの時は、そこからじょうろにうつして畑に  
 まいているそうです。その雨水は野さいの水  
 やりだけに使うわけではありませんでした。  
 と、た大コンヤにんじんのどろをおとすのに  
 も使っていました。畑のはじっこでは金魚も  
 かっています。その金魚の水も雨水です。  
 おじいちゃんはおじいちゃんなのにとても  
 パワフルでぼくはいつも元気をもらっていま  
 す。元気だけではありません。おじいちゃん

る事にしました。そうしたら  
 っれて、てや、から自分の目でたしかめる。  
 と言われました。たまに遊びに行く畑です  
 が水の事を考えた事は一度もありませんでし  
 た。

おじいちゃん畑には大きいバケツだけで  
 はなく、小さいバケツのほか、あの時使った  
 いしようケースやたらい、家で使わなくなっ  
 た雨水がたまりそうなようきがたくとんなら  
 べてありました。中には、ボウワウ、おたま

はぼくにたくさん教えてくれました。雨水の  
活用は、その中の一つです。

ぼくは、おこづかいをためて、おじいちゃん  
がじょうろをもって畑をやるいてまおらな  
くてもいいように大きな雨水タンクをかっこ  
じや口とホースをつけて水やりが楽になるよ  
うなそうちをプレゼントしたいです。

おじいちゃんいつもありがとうございます。